



卒業生のための 図書館利用案内

★ 卒業後もできること

- 青山本館、相模原万代記念図書館の利用
(閲覧、複写、貸出※、OPAC端末の利用)

※ 貸出には図書館カードが必要 … **1**

※ 閲覧・複写のみであれば図書館入口での記帳、
身分証提示で利用可

- 持込PCの利用

(青学の無線LANは利用不可)



図書館カード申込方法は
1 ページをご覧ください

2018年2月作成
2022年4月改訂



下記 **2** ~ **5** の
代替手段をご案内します



卒業後、できなくなること



<青学図書館の利用について>

- 試験期間（7、1月）の貸出・延長 ※閲覧・複写は可
- 貸出中資料への予約
- 購入希望（リクエスト）
- 8号館図書館学習室、教研PC、青学無線LANの利用
- レファレンス（調べ物相談）… **2**
- データベース利用 … **3**

<他大学資料の利用について>

- 紹介状発行 … **4**
- 文献複写・図書貸借サービス … **5**
- 山手線コンソーシアム等、協定校の利用

1 図書館カード発行

図書館カードを発行するには

★ 図書館カード発行に必要なもの

下記2点をお持ち下さい

発行までに1週間程度いただきます（通常期）

● 身分証

運転免許証等、現住所が記載されている公的なもの

● カード発行手数料800円分の図書館専用の証紙

証紙は学内の証紙券売機でご購入ください

詳細は図書館カウンターまで

★ 図書館カードで できること

● 貸出 ※（5冊 / 2週間）

● 延長 ※（予約者がいない場合のみ2週間/5回まで）

※7、1月は貸出・延長不可

● 他キャンパス（青山・相模原）図書館からの資料の取り寄せ

● 研究室資料の利用（一部の研究室除く）

2 レファレンス

調べ方の相談をするには



現在のご所属先 (進学先の図書館、勤務先の図書室)
または公共図書館にご相談下さい

- 公共図書館でも調べ方の相談ができます
例：駅の乗降者数が知りたい、今一番売れている化粧品が知りたい
- メールや電話で相談できる図書館もあります
※図書館HPか窓口にてご確認ください



「調べ方」を調べるには？

- **リサーチ・ナビ** (フリーサイト)
国立国会図書館による調べ方案内のサイト
- **レファレンス協同データベース** (フリーサイト)
各図書館の調べ方事例集のサイト
- **パスファインダー**
各図書館などが作成した調べ方ガイド
それぞれの図書館HPで公開している場合あり
- **調査方法を知るための本**
調べ方や、調査に役に立つ資料・ツールを紹介している本
例：『レファレンスブックス：選びかた・使いかた』など
請求記号：「007」や「015」の棚にある事が多い

3 データベースの利用

有料データベースを使うには

★ 各図書館館内で利用できる場合があります

- **都立中央図書館（広尾）**

日経テレコン21, eol, D1-Law.com, etc.

- **国立国会図書館（永田町）**

ProQuest, EBSCOhost, 医中誌Web, etc.



※ 利用できるデータベースのリストを図書館HPで公開している場合もあります

※ 青学図書館HPのデータベース一覧に掲載されているものでも「フリー」と書かれているフリーサイトのデータベースは卒業後も利用が可能です

★ 無料データベースで代用できる場合もあります

- **【海外論文を探す】** ProQuest, EBSCOhost

→ Google Scholar, Hathi Trust, Internet Archive

- **【有価証券報告書を探す】** eol

→ EDINET

- **【世界の統計を探す】** OECD iLibrary

→ World Development Indicators

4 紹介状発行

一般開放していない図書館を使うには



現在のご所属先（進学先の図書館、勤務先の図書室）
または公共図書館にご相談下さい

→事前に申込をすることで、資料を利用するための紹介状が発行できます（※自習目的の利用は不可）

<申込・利用手順>

- 閲覧を希望する機関・資料・日にちを特定し、所属先または公共図書館に紹介状発行を申込み
- 図書館から閲覧を希望する機関へ問い合わせ、許可が下りれば、紹介状が発行される
- 紹介状を持参し、資料を利用



紹介状の発行には
時間がかかる場合が多いです。
申し込みはお早めに

5 文献複写・図書貸借

図書館にない資料を取り寄せるには



現在のご所属先（進学先の図書館、勤務先の図書室）
または**公共図書館**にご相談下さい

- 送料などの負担金額は図書館の規定により異なる
- 市区町村の同地域の公共図書館間での資料の取寄せは基本的に無料。ただし資料の所蔵先により郵送料などが発生する場合もあり
- 文献複写の申込・図書貸借物の利用は著作権の範囲内で
例：図書の場合、複写できるのは全体の半分まで



図書館を通さず
個人で申込できる機関もあります
例：国立国会図書館 ※HP等を要確認



他機関紹介

仕事や学習に役立つ図書館が沢山あります



誰でも使える図書館（一例）

※入場料など、利用料がかかる図書館もあります

- 国立国会図書館（千代田区）
- 都立中央図書館（港区）
- 旅の図書館（港区）
- 食の文化ライブラリー（港区）
- 日本近代文学館（目黒区）
- 国文学研究資料館（立川市）
- 証券図書館（中央区）
- 統計図書館（新宿区）
- 最高裁判所図書館（千代田区）
- ニュースパーク 日本新聞博物館（横浜市）

どんな図書館があるかは
「公共図書館リンク集」や
「専門図書館ガイド」などのサイト
でも検索できます



それぞれのHP等で最新情報を
確認してから行きましょう